

足底腱膜への振動刺激治療は慢性期胎児性水俣病患者の下肢の痙性を改善する

臼杵扶佐子、遠山さつき

ハンディーマッサージャーを用いた筋緊張（痙性）に対する新規治療法を報告する。下肢の痙性を示した胎児性水俣病患者に対し、右足底腱膜と左ハムストリングに振動刺激治療を行ったところ、1年後には、下肢の Modified Ashworth Scale (MAS) は、3 (右>左) から 2 (右<左) へ改善した。開始前に左下肢より痙性がつよかった右下肢の痙性の方が改善したため、足底腱膜への振動刺激が下肢の痙性には有効と考えられた。そこで、左側も足底腱膜への振動刺激治療に変更したところ、左下肢の MAS が右下肢と同等に改善した。さらに深部腱反射の亢進も減弱し、顕著であったバビンスキー徴候も両側で弱陽性となった。この方法は非常に簡便であり、家庭でも行うことができる治療法である。足底腱膜へ直接振動刺激を与えるこの痙性に対する治療法は、神経疾患、特に侵襲性の治療法を受けられない患者に有用と思われる。